

科目名 (英)	オリエンテーション導入教育Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松原 佐藤 竹澤
学科・コース	トータルビューティ科共通	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
・目指す将来像を明確にし、目標に向かって準備をする。 ・コース分け後、新たなクラスで同じ目標をもつ仲間との人間関係を構築させる。							
【授業を通じての到達目標】							
目指す業界・職業を理解し、同じ目的を持った同志と共に就職活動に向けて準備をすることができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
マニュアル／その他毎授業時に配布。				授業によって自宅課題あり。			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	初回オリエンテーション 新たなクラスメイトと共にクラス内形成を実施する。※自己紹介						
2	専門分野についての知識や技術を理解し、後期の時間割を知る。 学生便覧:到達目標確認する。						
3	目指す職業に必要な資格を知る。 学生便覧:取得目標資格を確認し、正式名称が書けるようになる。					小テスト4点	
4	目指す業界について詳しく調べる。→グループワーク→発表						
5	専門分野に必要な所作やマナーを知り、実践できるようにする。						
6	業界研究→グループワーク→発表					小テスト4点	
7	就職活動へ向けての目標・達成するためにはを明確にする。					中間テスト20点	
8	就職結団式(リクルートスーツ・キャリア・内定を勝ち取るために)						
9	模擬面接 集団面接にて、質疑応答					小テスト4点	
10	振り返り→グループワーク→発表 周囲と自分の差を感じ、意欲を高める。						
11	目指す業界・職業への志望動機を明確にする。						
12	プレゼンテーションを通して、自己開示をする。 他己評価をし、フィードバックし合う。					小テスト4点	
13	プレゼンテーションを通して表情・発声・質問に対する的確な返答がクラス内で共有できるようにする。					小テスト4点	
14	自己PR・志望動機を明確にし、履歴書を作成する。						
15	定期試験:プレゼンテーション(自己PR・志望動機)					定期試験 60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松原 佐藤
学科・コース	トータルビューティ科共通	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
・担任が社会人経験を活かし、美容学生として自覚を持たせそれぞれの業界のプロを目指す心構えを持たせる。 ・業界のプロを目指すためにそれぞれの職種について、やりがい、職業につくための必要な努力を伝える。 ・学生1人ひとりの適性を踏まえて後期からの進路(コース)を選択できるよう導く。							
【授業を通じての到達目標】							
目指す業界を知り、業界のプロを目指すにあたり必要なマナーや振る舞いを理解し、実践することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
マニュアル／その他毎授業時に配布。				授業によって自宅課題あり。			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	「就職活動について リクルートスーツの着方について」 就職スケジュール、就職支援ルール、学校推薦基準、就職活動における身だしなみ。						
2	「求人票の見方について」 人票の見方を知り、興味のある企業の求人情報を検索し、新卒採用＆中途採用における給与条件を調べる。						
3	「外部における就職活動について」 会社説明会、採用面接の形態を学び、就職活動時における職業別の適切な身だしなみを理解する。					小テスト4点	
4	「就職活動における諸対応について」 就職活動時の選考書類の送り方、電話対応、提出物、メールの送信において適切な方法を学ぶ。						
5	「面接において聞かれる質問内容について」 採用面接時に聞かれる質問内容を知り、自分の回答を考えてまとめることができるようになる。						
6	「面接における所作、話し方について」 面接練習を通して好感の持てる表情、話し方が実践できるようになる。 プレゼンテーションの実践。					小テスト4点	
7	「就職活動時に提出する書類について」 就職活動時における履歴書以外の提出書類を知り、送付状、履歴書の作成が出来るようになる。					中間テスト20点	
8	「面接時における自己PRの作成について」 面接時における自己PRの作成が出来るようになる。						
9	「受験先について」 目指す業界の企業を知る。数ある企業の中から受験先の候補を考える。面接練習					小テスト4点	
10	「受験資料の作成」 就職活動に向けて履歴書の作成をし、面接練習を通して自分を伝えることができるようになる。						
11	「面接練習の実践、受験資料の作成」 面接練習を通して、自己PRを明確に伝えることができるようになる。						
12	「面接練習の実践、受験資料の作成」 面接練習を通して、志望動機を明確に伝えることができるようになる。					小テスト4点	
13	「面接練習の実践、受験資料の作成」 面接練習を通して、表情・発声・質問に対する的確な返答ができるようになる。					小テスト4点	
14	「面接練習の実践、受験資料の作成」 面接練習を通して、自分の弱点を知り改善することができるようになる。						
15	「定期試験：1年次の振り返り、就職活動における総括」履歴書の提出・模擬面接 受験先を決定し、受験に対しての準備を終えることができるようになる。					定期試験 60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	国際教育	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松原
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	後期
学科・コース		トータルビューティー科					
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
海外の美容の状況・文化・生活様式について学ぶ 特に美容各専門分野においては世界各地域による特性が出ることから、日本国外の美容の状況を知ることでグローバルに活躍できる素地を醸成する							
【授業を通じての到達目標】							
業b拾い美容技術を知るとともに、将来的に海外でも美容施術者として活躍できるきっかけを持てるようにする							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	オリエンテーション 到達目標 国際教育についての学習の目的を知る						
2	海外ゲストによる技術指導 各専門分野での技術指導をうける						
3	海外ゲストの技術を見て学ぶ デモンストレーション見学						
4	海外ゲストの技術を見て学ぶ デモンストレーション見学					20点	
5	前回の振り返り・今後の概要説明						
6	グループワーク「グローバルな活躍とは何か」					60点	
7	フィールドワーク 芸術鑑賞						
8	フィールドワーク 芸術鑑賞					20点	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	就職ガイダンス	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	各担任
学科・コース	トータルビューティ科・全コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
【目的】 自分の将来を考え、社会人、企業人として、仕組みやマナーについて理解し、対応力を身につける。 経済産業省が主催した有識者会議により、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力を養う。 「社会人基礎力」前に踏み出す力（①主体性 ②働きかけ力 ③実行力）、考えぬく力（④課題発見力 ⑤計画力 ⑥創造力）を身に付ける。 【教員】社会経験13年以上ある教員が、社会に必要な知識「社会人基礎力」を中心に社会に必要な知識を教える。							
【授業を通じての到達目標】 ・社会人として仕事をスムーズに進められる方法、社会人として対応できる知識を理解する。 ・社会人としての知識を身につけ、説明できるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
筆記用具、授業用ファイル（配布した使用はファイリングのうえ持参）							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【到達目標】目標を立てる（人生100年時代・自分の人生を計画する） 自分の未来について考え目標を立て、一年間の心構えを持つ。						
2	【到達目標】交流会のメニュー表を作る 1,2年生の交流会に実施する内容を決定しメニュー表を作成する						
3	【到達目標】自己PRが言えるようになる 面接時に自分の強みを知り、人に伝えられる。					4 点	
4	【到達目標】主体性を理解し物事に進んで取り組む力を理解する 主体性を客観的に見つめ過去の選択の振り返りをする						
5	【到達目標】主体性で見つけた自分を相手に伝えることができる 自分の想いを30秒で伝えることができ、グループワークでは相手の話を受容できる。					4 点	
6	【到達目標】働きかけ力を理解する 自分の意見を相手に伝えることが出来、グループワークで答えがだせる。						
7	【到達目標】中間試験 1～7週まとめを理解し説明できる。					中間テスト20点	
8	【到達目標】将来の目標が言えるようになる 面接時に自分の目標を、人に伝えられる。						
9	【到達目標】ドリームMAPを作りグループで発表ができる 自分の将来やりたいこと、持ちたいもの、一枚の紙にまとめ相手に伝えることができる。					4 点 (持ち物) はさみ、のり、雑誌の切り抜き	
10	【到達目標】実行力を理解する 一ヶ月でチャレンジしたいことを考え実行する上での障害や対処法を考えられる。						
11	【到達目標】課題発見力を理解する 課題発見と解決に向けたプロセスを明らかにする。					4 点	
12	【到達目標】計画力を理解し自分の計画を立てる 計画をしたことで上手くいったことを知り、自分の計画パターンを知る。						
13	【到達目標】創造力を養い色んな発想法に触れる 連想ゲーム、クリップワーク、くっつけワークを通してアイデアをだす。					4 点	
14	【到達目標】社会人基礎力を理解し一番必要なものを話し合える（6種類） 職場で多様な人々と仕事をしていくための力を理解し、自分の目標とリンクすることができる。						
15	【到達目標】定期試験 定期試験の返却と解説					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点） D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格） ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	選択必修授業	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中澤
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期
学科・コース	トータルビューティー科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
希望職種の中から選択し、技術の幅を広げることができるようになる 今回は着付け初伝について実施をする 講師は山野流着装教室にて講師を10年以上経験している							
【授業を通じての到達目標】							
美容職に必要な技術を選択し、技術の幅を広げられるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
適宜指示				自宅学習もあり			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	オリエンテーション 希望選択について						
2	小紋の着付けと帯結び					5点	
3	体型補正から振袖長襦袢の着付け						
4	着物の本たたみ					5点	
5	名古屋帯のたたみ方						
6	帯揚げの結び方						
7	帯締めの結び方						
8	中間試験					20点	
9	ミスの第一礼装:振袖の知識を覚える						
10	・体型補正から振袖長襦袢の着付け					5点	
11	振り返り①						
12	振り返り②						
13	準備の仕方から小紋の着付けまで						
14	総仕上げ					5点	
15	定期試験					60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	アドバイザートレーニング演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	深井ルミ
学科・コース	トータルビューティー科メイク専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
フルメイクの反復練習で基本的なメイク技術の向上をめざす。デモンストレーションを見てメイクプロセスやポイントを書き取りメイクレシピを作成し、セルフメイクすることでテーマメイクのポイントを確実におさえ、様々なテーマに合わせたメイクができるようになる。様々なコスメを駆使してフルメイクができるようになる。 ※BA経験と、10年以上化粧品メーカーのコンサルティングと化粧品開発に携わる。							
【授業を通じての到達目標】							
様々なテーマメイクのポイントを理解し、イメージに合わせたアイテム選びをし、フルメイクで表現できる技術力を修得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
講師作成資料 ノート							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	ナチュラルカラーメイク①デモンストレーション セルフメイク この授業の目的・目標を理解する。メイクポイントノートを作成し、ナチュラルカラーメイクのPointを理解しセルフメイクができるようになる。						
2	ナチュラルカラーメイク②相モデル実習 モデルの顔に合わせナチュラルカラーメイクができるようになる					5	
3	キュートメイク(ソフト)①デモンストレーション セルフメイク メイクポイントノートを作成し、キュートメイク(ソフト)のPointを理解しセルフメイクができるようになる。						
4	キュートメイク(ソフト)② 相モデル実習 モデルの顔に合わせキュートメイクができるようになる						
5	キュートメイク(ポップ)①デモンストレーション セルフメイク キュートメイク(ポップ)のPointを理解しセルフメイクができるようになる。					5	
6	キュートメイク(ポップ)②相モデル実習 モデルの顔に合わせキュートメイクができるようになる						
7	中間試験 メイク実技 ノート提出 モデルの顔に合わせたテーマフルメイクができる。					20	
8	クールメイク①デモンストレーション セルフメイク メイクポイントノートを作成し、クールメイクのPointを理解しセルフメイクができるようになる。						
9	クールメイク②相モデル実習 モデルの顔に合わせキュートメイクができるようになる					5	
10	ゴージャスメイク①デモンストレーション セルフメイク メイクポイントノートを作成し、ゴージャスメイクのPointを理解しセルフメイクができるようになる。						
11	ゴージャスメイク②相モデル実習 モデルの顔に合わせゴージャスメイクができるようになる。					5	
12	アイフォーカスメイク①デモンストレーション セルフメイク メイクポイントノートを作成し、アイフォーカスメイクのPointを理解しセルフメイクができるようになる。						
13	アイフォーカスメイク②相モデル実習 モデルの顔に合わせアイフォーカスメイクができるようになる						
14	リップフォーカスメイク解説 相モデル実習 メイクポイントノートを作成し、モデルの顔に合わせリップフォーカスメイクができるようになる						
15	定期試験 メイク実技 ノート提出 モデルの顔に合わせたテーマフルメイクができる。					60	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	セルフブランディング	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	佐藤 翔子
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	後期
学科・コース		トータルビューティ科・メイクアップコース					
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【目的】 ビューティアドバイザーとして実際に接客をする際に、相手に伝えることを主としてその語彙や手法について学ぶ 【教員】社会経験13年以上ある美容部員経験のある職員が、実際に伝えることをテーマとして授業を行う							
【授業を通じての到達目標】							
自分自身を発信する手法を身に付け、SNS等での発信力を身に付ける							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
講師作成資料・教材配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	SNSの種類・それぞれの特徴について						
2	現在流行しているインフルエンサーについて調べる					小テスト 5点	
3	インフルエンサーの発信方法を分析する						
4	自分自身の強み・特徴を理解する						
5	プロモーションの手法や企業の状況を理解する					小テスト 5点	
6	自分の発信するメイクアップを考案する						
7	メイクアップを実践し、撮影を行いSNS上で発信する					中間テスト20点	
8	先週の発信についての影響を分析する						
9	メイクアップを実践し、撮影を行いSNS上で発信する②					小テスト 5点	
10	先週の発信についての影響を分析する						
11	メイクアップを実践し、撮影を行いSNS上で発信する③					小テスト 5点	
12	先週の発信についての影響を分析する						
13	ロケで自分自身のトータルコーディネートを考える						
14	メイクアップを実践し、撮影を行いSNS上で発信する④						
15	全体を通して振り返りを行う					定期テスト 60点	
【特記事項】				【評価について】 ●評価はS・U・Eでおこなう。 S…合格(認定) U…不合格(認定せず) E…不合格(出席不良) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	タッチアップメイク演習	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	秋本いくみ
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期
学科・コース	トータルビューティー科 メイク分野						
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) メイクスキルを必要とする化粧品ブランドでメイクアーティストを経て、現在バックステージ、広告、CMのヘアメイクとして活動する講師が、BAとして必要なコミュニケーション、タッチアップのメイク技術を指導する。							
【授業を通じての到達目標】 BAとして幅広い、年齢層、人種、肌色、骨格、その方の悩みが解決出来るようなメイクの提案力、その方にあった製品の選び方、タッチアップの技術を身に付ける事が出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 プリント(補助教材)				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	基本的なフェイスチャートの描き方レクチャー						
2	メイクブラシの使い分けのレクチャー						小テスト4点
3	ツヤ肌作りのレクチャー						
4	アイブロウとアイシャドウのレクチャー						小テスト4点
5	チーク、ハイライト、シェーディングのレクチャー						
6	カウンセリングをしてモデルのメイク悩みを聞き出す。						
7	中間試験						中間テスト20点
8	ベースメイクのおさらい。						
9	アイシャドウのコントラストの作り方レクチャー						小テスト4点
10	リキッド、ジェルライナーのひき方レクチャー						
11	リップラインのひき方レクチャー						小テスト4点
12	色の出し方、ブラシの使い方レクチャー						
13	パールとマツの使い分けレクチャー						小テスト4点
14	モデルの顔分析 シートの記入						
15	定期試験						定期試験60点
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ブランド別メイク理論&演習Ⅰ	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	深井ルミ
学科・コース	トータルビューティー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
BAとして必要な基本的な化粧品や皮膚構造や働きなどについて理解する。 ※BA経験と、10年以上化粧品メーカーのコンサルティングと化粧品開発に携わる。化粧品検定1級・コスメコンシェルジュインストラクター資格取得。							
【授業を通じての到達目標】							
ブランドの特徴や商品の違いを理解し、ブランドイメージに合わせてメイクアップができるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プリント(補助教材)							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	化粧品業界について						
2	外資系ブランド ①					小テスト4点	
3	外資系ブランド ②						
4	国産ブランド ①					小テスト4点	
5	国産ブランド ②						
6	リサーチ&プレゼンテーション						
7	最新クリスマスコフレ					中間テスト20点	
8	メイク実習とプレゼンテーション						
9	外資系ブランド ③					小テスト4点	
10	国産ブランド ③						
11	2022年 春メイク					小テスト4点	
12	人気ブランドを知る1						
13	人気ブランドを知る2					小テスト4点	
14	メイク実習とプレゼンテーション						
15	メイク実習とプレゼンテーション					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	プレゼンテーション	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	佐藤 翔子
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	後期
学科・コース		トータルビューティ科・メイクアップコース					
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【目的】 ビューティアドバイザーとして実際に接客をする際に、相手に伝えることを主としてその語彙や手法について学ぶ 【教員】社会経験13年以上ある美容部員経験のある職員が、実際に伝えることをテーマとして授業を行う							
【授業を通じての到達目標】							
接客時に商品の良さを伝えられるようになる手法を理解することができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
講師作成資料・教材配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	プレゼンテーションの意義・ビューティアドバイザーとして						
2	まずは「聴く」力を理解する。傾聴について					小テスト 5点	
3	話し方について理解する・話し上手の3つの基本						
4	説得上手の手法を理解する						
5	相手に伝わるコミュニケーションについて理解する					小テスト 5点	
6	話し方・聞き方についての振り返り						
7	前半の学びを振り返り、言葉のみのプレゼンテーションの実施					中間テスト20点	
8	視覚に訴えるプレゼンテーションの理解						
9	書いて相手に伝える技法を理解する					小テスト 5点	
10	自己理解・他者理解について						
11	ジョハリの窓について					小テスト 5点	
12	インタビューとフィードバックの実践						
13	化粧品を基にしたプレゼンテーションの準備						
14	化粧品を基にしたプレゼンテーションの実施						
15	化粧品を基にしたプレゼンテーションの実施②					定期テスト 60点	
【特記事項】				【評価について】 ●評価はS・U・Eでおこなう。 S…合格(認定) U…不合格(認定せず) E…不合格(出席不良) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	化粧品検定	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	深井ルミ
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	後期
学科・コース	トータルビューティー科メイクコース						
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
BAとして必要な基本的な化粧品や皮膚構造や働きなどについて理解する。 ※BA経験と、10年以上化粧品メーカーのコンサルティングと化粧品開発に携わる。化粧品検定1級・コスメコンシェルジュインストラクター資格取得。							
【授業を通じての到達目標】							
基本的な肌知識、化粧品知識を修得する。化粧品検定2級合格。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
化粧品検定3・2級テキスト							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	この授業について 3級内容(～35P) この授業について理解する 間違いがちな美容知識について理解する						
2	3級内容 36～49P 間違いがちな美容知識について理解する						
3	2級内容 52～59P 皮膚構造 皮膚構造・表皮について理解する。					5	
4	2級内容 60～69P 皮膚構造 皮膚構造・真皮・付属器官、皮膚の機能について理解する						
5	2級内容 72～77P 肌のお手入れと正しい知識 肌タイプと見分け方 肌悩みの原因と対策について理解する 乾燥					5	
6	2級内容 78～83P 肌のお手入れと正しい知識 その2 肌悩みの原因と対策について理解する ニキビ・毛穴						
7	中間試験 83Pまでの内容 筆記テスト 一般的な美容知識と皮膚構造、肌悩みにについて理解する。					20	
8	2級内容 84～89P 肌のお手入れと正しい知識 その3 肌悩みの原因と対策について理解する くすみ						
9	2級内容 90～93P 肌のお手入れと正しい知識 その4 肌悩みの原因と対策について理解する くま・しわ・たるみ					5	
10	2級内容 94～108P メイクアップの基本 メイクアップの基本テクニックのポイントを理解する。						
11	2級内容 112～119P 肌の劣化 肌劣化の原因と仕組みについて理解する						
12	2級内容 120～125P 紫外線が肌に与える影響 紫外線の種類、紫外線が肌に与える影響を理解する。					5	
13	2級内容 126～130P 効果的なマッサージ 効果的なマッサージの必要性和方法を理解する						
14	2級内容 132～139P 生活習慣と美容 美しい肌を作る生活習慣について理解する。						
15	定期試験 139Pまでの内容 筆記テスト 肌悩みとお手入れ方法、メイクの基本テクニック、肌劣化、紫外線の影響、生活習慣について理解する					60	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	検定対策(化粧品販売員検定) cosmetics	年次	1年	実務経験	担当	高岸裕一
		授業形態	講義・演習			
		時間数	30	有	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科　メイクアップ専攻	単位	2		曜日・時間	
講師紹介	CAA化粧品販売員検定協会の理事、ヘアメイク事務所の代表を務め、コレクションやメイクショー　など大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師。					
目的 科目概要	美容部員として必要な技術力・知識力・販売力を身につける。CAA全国化粧品販売員検定協会ブロンズ・シルバー資格を取得する。					
到達目標	CAA全国化粧品販売員検定協会のブロンズ・シルバー資格を取得する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C(2.0)、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（　）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験　　□ 実技試験　　□ 作品					
教科書	CAA全国化粧品販売員検定協会公式テキスト　ブロンズ・シルバー			事前事後 学習と その内容	化粧品販売員検定取得する事により現場のOJTやブランド就職先のアプローチに繋がる。	
教材	メイク道具一式					
特記事項	授業前にメイク道具をセッティング					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	自己紹介・化粧品業界の動向とブランド分析	自己紹介・化粧品業界の動向・ブランド分析 ブランドメイク実技(セルフ)
2	化粧品学(基礎)①スキんケアアイテム	基礎化粧品の分類と特徴・パウダーレスのツヤ肌メイク実技
3	化粧品学(基礎)②メイクアップアイテム	仕上げ用化粧品の分類と特徴・タッチアップアイメイク実技(六分割)
4	接客販売①&タッチアップ	化粧品販売員の役割・心構え・ホスピタリー・身だしなみ・パーソナルスペースなど、タッチアップメイク実技(つり目)
5	接客販売②&タッチアップ	お客様の分類・集客・売上・販売行動・アプローチ・クロージングなど、タッチアップメイク実技(たれ目)
6	化粧品販売員検定ブロンズ 模擬テスト	ブロンズ模擬テスト、タッチアップメイク実技(丸い目)
7	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験対策	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験対策
8	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験
9	化粧品学(応用)①&タッチアップ	薬事法・化粧品成分・美白成分・最新有効成分など、色相Y:イエローベースメイク実技
10	化粧品学(応用)②&タッチアップ	品質向上・安定化成分・メイクアップ構成成分・フレグランスなど、色相B:ブルーベースメイク実技
11	皮膚科学①&タッチアップ	皮膚とは・血液リンパ・季節と肌など 明度L:ライトトーンメイク実技
12	皮膚科学②&タッチアップ	スキンタイプ・肌のトラブルなど 明度D:ディーブトーンメイク実技
13	スキんケアカウンセリング&タッチアップ	スキんケアカウンセリング手順など 彩度V:ピピットカラーメイク実技
14	化粧品販売員検定シルバー期末試験対策	化粧品販売員検定シルバー中間試験対策 彩度S:ソフトカラーメイク実技
15	化粧品販売員検定シルバー期末試験	化粧品販売員検定シルバー中間試験 似合わせメイクアップ実技

科目名 (英)	イクステンション演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	戸川 智尋
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティー科・ネイル専攻					曜日・時間	
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ネイリスト技能検定2級に合格する為に サロンワークに通用するネイルケア、リペア、チップ&ラップ、アートに関する基本的な知識を理解し、技術を身に付ける ネイリスト検定1級検定試験合格する為に アクリルネイルの基本的知識とを理解し、イクステンションの技術を身に付ける コンテストの作品を作成するためにジェルネイルの基本的知識とを理解し、チップオーバーレイ、アートの技術を身に付ける ※日本ネイリスト協会 常任本部認定講師、本部認定講師、JNECネイリスト技能検定試験管、JNAジェルネイル検定試験管経験者、JNA衛生管理士動員、JNAフットケア理論検定試験指導員が実施 経歴：ネイル教育に20年以上携わってきました。現在はネイル専門学校でも講師をしております。 日本ネイリスト協会では常任本部認定講師を勤めています。 各種ジェルメーカーのエデュケーターを務め、現場ではサロンはもちろんのこと、ネイル雑誌撮影、スタジオスチール撮影等様々な仕事に携わらせていただきました。							
【授業を通じての到達目標】 ネイリスト技能検定2級に合格できるレベルに達している ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げることができる アクリルネイルのイクステンション(スカルプチュアネイル、チップ & オーバーレイ)のアプリケーション～シェイニングまで仕上げることができる ジェルネイルのイクステンション(チップ&オーバーレイ)のアプリケーション、ベースアート、トップジェルまで仕上げることができる							
【使用教科書・教材・参考書】 JNAテクニカルシステムアドバンス JNAテクニカルシステムジェルネイル 配布教材 ビニール袋 セロテープ キッチンペーパー 筆記用具 メモ帳				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	チップラップ(右中指) 相モデル						
2	ネイリスト技能検定試験2級 タイムトライアル55分 ※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指)						
3	ネイリスト技能検定試験2級 タイムトライアル55分 ※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指)						
4	ネイリスト技能検定試験2級 タイムトライアル55分 ※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指)					小テスト20点	
5	アクリル教材説明、検定シール貼付、ブラシの下ろし方、アクリルネイルの基礎知識を修得する ミクスチュア作成(大、中、小)1cm×1cmの四角形で厚み1mmにプレスしたミクスチュア						
6	ジェルチップオーバーレイ(コンテストスタイル) プラクティスハンド使用 コンテストに向けて、ロングイクステンションのチップの角度を理解し、装着することができる フリーエッジ1cm程度のスクエアで薄く仕上げる						
7	ジェルチップオーバーレイ(コンテストスタイル) プラクティスハンド使用 コンテストに向けて、ロングイクステンションのチップの角度を理解し、装着することができる フリーエッジ1cm程度のスクエアで薄く仕上げる						
8	ジェルチップオーバーレイ(コンテストスタイル) プラクティスハンド使用 コンテストに向けて、ロングイクステンションのチップの角度を理解し、装着することができる フリーエッジ1cm程度のスクエアで薄く仕上げる						
9	ジェルチップオーバーレイ(コンテストスタイル) プラクティスハンド使用 コンテストに向けて、ロングイクステンションのチップの角度を理解し、装着することができる フリーエッジ2cm程度のスクエアで薄く仕上げる						
10	ジェルアート 縦グラデーション タイダイ (チップ)						
11	ジェルチップオーバーレイ&ジェルアート 縦グラデーション タイダイ (プラクティスハンド)						
12	ジェルチップオーバーレイ&ジェルアート 縦グラデーション タイダイ (プラクティスハンド)					中間テスト20点	
13	アクリルスカルプチュアネイル (相モデル) TO2本 スカ5本						
14	アクリルスカルプチュアネイル (相モデル) TO2本 スカ5本						
15	アクリルイクステンション チップ&オーバーレイ スカルプチュアネイル(相モデル) チップオーバーレイ2本 スカルプチュア3本【90分】					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ジェルネイル演習Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	小峰 奈々
学科・コース	トータルビューティー科・ネイル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ネイリスト技能検定2級に合格する為に サロンワークに通用するネイルケア、リペア、チップ&ラップ、アートに関する基本的な知識を理解し、技術を修得する アクリルネイルの基本的知識とを理解し、イクステンションの技術を修得する 検定1級ミックスメディアアートの構成を決め、時間内に収める 基本的なジェルアートの描き方を修得し、ジェル検定中級に備える ※日本ネイリスト協会 常任本部認定講師、本部認定講師、JNECネイリスト技能検定試験管、JNAジェルネイル検定試験管経験者、JNA衛生管理士動員、JNAフットケア理論検定試験指導員が実施							
経歴:ネイルスクール卒業後ネイルサロンで実務経験を積み店長業務を経てネイルの講師としてネイル業界に携わっています。							
【授業を通じての到達目標】							
ネイリスト技能検定2級に合格できるレベルに達している ファイリング、メタルブッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げることができる アクリルネイルのイクステンション(スカルプチュアネイル、チップ&オーバーレイ)のアプリケーション～シャイニングまで仕上げることができる ジェルアートのグラデーション、カラーフレンチをムラなくバランス良く仕上げることができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
JNAテクニカルシステムアドバンス JNAテクニカルシステムジェルネイル 配布教材 ビニール袋 セロテープ キッチンペーパー 筆記用具 メモ帳							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	カラー(ピンク系)、アート(左中指) 相モデル						
2	チップラップ (相モデル)						
3	チップラップ (相モデル)						
4	チップラップ (相モデル)						小テスト20点
5	ジェルカラーリング&ピーコック オフ【中3本】 自爪						
6	ジェルカラーリング&ピーコック オフ【中3本】 相モデル						中間テスト20点
7	ジェルグラデーション (チップ) タッピング技法・グラデーションブラシ技法						
8	ジェルチップオーバーレイ(コンテストスタイル) プラクティスハンド使用 フリーエッジ1cm程度、カットスタイル スクエア						
9	ジェルチップオーバーレイ(コンテストスタイル) プラクティスハンド使用 フリーエッジ2cm程度、カットスタイル スクエア						
10	ジェルアート 縦グラデーション タイダイ (チップ)						
11	ジェルチップオーバーレイ&ジェルアート 縦グラデーション タイダイ (プラクティスハンド)						
12	ジェルチップオーバーレイ&ジェルアート 縦グラデーション タイダイ (プラクティスハンド)						
13	アクリルスカルプチュアネイル (相モデル) チップオーバーレイ2本 スカルプチュア5本						
14	アクリルスカルプチュアネイル (相モデル) チップオーバーレイ2本 スカルプチュア5本						
15	アクリルイクステンション チップ&オーバーレイ スカルプチュアネイル(相モデル) チップオーバーレイ2本 スカルプチュア3本【90分】						定期試験60点
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ネイル技術演習Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	橋本 勇人
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティー科・ネイル専攻						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ネイルリスト技能検定2級に合格するために サロンワークに適用するネイルケア、リベア、チップ&ラップ、アートに関する基本的な知識を理解し、技術を修得する アクリルネイルの基本的知識とを理解し、イクステンションの技術を修得する 検定1級ミックスメディアアートの構成を決め、時間内に収める コンテストの作品を作成するためにツールペイントの技術を身に見つける 基本的なジェルアートの描き方を修得し、ジェル検定中級に備える ※日本ネイリスト協会 常任本部認定講師、本部認定講師、JNECネイリスト技能検定試験管、JNAジェルネイル検定試験管経験者、JNA衛生管理士動員、JNA フットケア理論検定試験指導員が実施							
経歴:ネイリストとして24年間、店長、スタッフ育成、人事などにたずさわリ、スクール講師としても20年以上勤めてきました。							
【授業を通じての到達目標】							
ネイルリスト技能検定2級に合格できるレベルに達している ファイリング、メタルブッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げることができる アクリルネイルのイクステンション(スカルプチュアネイル、チップ&オーバーレイ)のアプリケーション～シャイニングまで仕上げることができる エンボス、3Dの違いを把握し、ブラシワークを覚え模倣することができる ツールペイントのグラデーション(ダブルローディング)の技法を覚え模倣することができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
JNAテクニカルシステムアドバンス JNAテクニカルシステムジェルネイル 配布教材 ビニール袋 セロテープ キッチンペーパー 筆記用具 メモ帳							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	ケア、カラー(ピンク系)、チップラップ(右中指)						
2	ネイルリスト技能検定試験2級 タイムトライアル ※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指) 55分						
3	ネイルリスト技能検定試験2級 タイムトライアル ※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指) 55分					小テスト20点	
4	ネイルリスト技能検定試験2級 タイムトライアル ※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指) 55分						
5	ネイルリスト技能検定試験2級 タイムトライアル ※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指) 55分					中間テスト20点	
6	ブラシの下ろし方、エンボスアート 丸花、尖り花						
7	エンボスアート ハート、リボン						
8	ジェルツールペイント グラデーションフラワー						
9	ジェルツールペイント グラデーションフラワー						
10	アクリル3Dアート						
11	ジェルチップオーバーレイ&ジェルアート 縦グラデーション タイダイ (ブラクティスハンド)						
12	ジェルチップオーバーレイ&ジェルアート 縦グラデーション タイダイ (ブラクティスハンド)						
13	アクリルスカルプチュアネイル (相モデル) チップオーバーレイ2本 スカルプチュア5本						
14	アクリルスカルプチュアネイル (相モデル) チップオーバーレイ2本 スカルプチュア5本						
15	アクリルイクステンション チップ&オーバーレイ スカルプチュアネイル(相モデル) チップオーバーレイ2本 スカルプチュア3本【90分】					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ネイル検定演習Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	滝本 陽子
学科・コース	トータルビューティー科・ネイルコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ネイリスト技能検定2級に合格する為に サロンワークに通用するネイルケア、リペア、チップ&ラップ、アートに関する基本的な知識を理解し、技術を修得する アクリルネイルの基本的知識とを理解し、イクステンションの技術を修得する ※日本ネイリスト協会 常任本部認定講師、本部認定講師、JNECネイリスト技能検定試験管、JNAジェルネイル検定試験管経験者、JNA衛生管理士動員、JNA フットケア理論検定試験指導員が実施							
経歴:ネイルサロンでは店長として人事や教育に携わってきました。現在は個人サロンを経営する傍ら複数の専門学校やネイルサロンでの技術指導を行っています。							
【授業を通じての到達目標】							
ネイリスト技能検定2級に合格できるレベルに達している ファイリング、メタルブッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げることができる アクリルネイルのイクステンション(スカルプチュアネイル、チップ&オーバーレイ)のアプリケーション〜シャイニングまで仕上げることができ、 フォームが正しく均一に形成され、表面が滑らかにつながっている							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
JNAテクニカルシステムアドバンス JNAテクニカルシステムジェルネイル 配布教材 ビニール袋 セロテープ キッチンペーパー 筆記用具 メモ帳							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	ケアカラー (相モデル)						
2	ケアカラー (相モデル)						
3	ケアカラー (相モデル)						
4	ケアカラー (相モデル)					小テスト20点	
5	アクリルイクステンション チップオーバーレイ (ブラクティスハンド)						
6	アクリルイクステンション スカルプチュアネイル (ブラクティスハンド)						
7	アクリルイクステンション スカルプチュアネイル (ブラクティスハンド)						
8	アクリルイクステンション スカルプチュアネイル (ブラクティスハンド)						
9	アクリルイクステンション チップオーバーレイ／スカルプチュアネイル (ブラクティスハンド)						
10	アクリルイクステンション チップオーバーレイ／スカルプチュアネイル (ブラクティスハンド)						
11	アクリルイクステンション チップオーバーレイ／スカルプチュアネイル (ブラクティスハンド)						
12	アクリルイクステンション チップオーバーレイ／スカルプチュアネイル (相モデル)					中間テスト20点	
13	1級タイムトライアル (相モデル1人目)						
14	1級タイムトライアル (相モデル2人目)						
15	アクリルイクステンション スカルプチュアネイル(中3本)【90分】 1限は仕込み					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ネイル検定対策Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	戸川 智尋
学科・コース	トータルビューティー科・ネイル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ネイリスト技能検定2級に合格する為に サロンワークに通用するネイルケア、リベア、チップ&ラップ、アートに関する基本的な知識を理解し、技術を修得する アクリルネイルの基本的知識とを理解し、イクステンションの技術を修得する ※日本ネイリスト協会 常任本部認定講師、本部認定講師、JNECネイリスト技能検定試験管、JNAジェルネイル検定試験管経験者、JNA衛生管理士動員、JNAフットケア理論検定試験指導員が実施 経歴：ネイル教育に20年以上携わってきました。現在はネイル専門学校でも講師をしています。 日本ネイリスト協会では常任本部認定講師を勤めています。 各種ジェルメーカーのエデュケーターを務め、現場ではサロンはもちろんのこと、ネイル雑誌撮影、スタジオスチール撮影等様々な仕事に携わらせていただきました。							
【授業を通じての到達目標】							
ネイリスト技能検定2級に合格できるレベルに達している ファイリング、メタルプッシャー、キューティクルニッパーのハンドリングを模倣によって修得し、正しく安全に操作することができる カラーリングはムラがなくライン取りができ、アートはムラがなくバランス良く繊細に仕上げるができる アクリルネイルのイクステンション(スカルプチュアネイル、チップ&オーバーレイ)のアプリケーション～シャイニングまで仕上げることができ、 フォームが正しく均一に形成され、 表面が滑らかにつながっている							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
JNAテクニカルシステムアドバンス JNAテクニカルシステムジェルネイル 配布教材 ビニール袋 セロテープ キッチンペーパー 筆記用具 メモ帳							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	ネイリスト技能検定試験2級 タイムトライアル ※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指) 55分						
2	ネイリスト技能検定試験2級 タイムトライアル ※前日までにケアの仕込みを各自で行う 事前仕込み30分で準備し、ケア35分 チップラップ(左人差指)・カラーリング・ネイルアート(右手人差指) 55分					小テスト20点	
3	教材説明 ジェルの基礎知識(プリント) ブラシの下ろし方 ジェルの管理と保管 プレパレーション ジェルカラーリング(赤) ジェルオフ 過去問題は配布 (自爪)						
4	アクリル フローター(プラクティスハンドでショート、ロング)、ファイリング基礎						
5	アクリルイクステンション チップオーバーレイ／スカルプチュアネイル (プラクティスハンド)						
6	アクリルイクステンション チップオーバーレイ／スカルプチュアネイル (プラクティスハンド)						
7	アクリルイクステンション チップオーバーレイ／スカルプチュアネイル (プラクティスハンド)						
8	アクリルイクステンション チップオーバーレイ／スカルプチュアネイル (プラクティスハンド)						
9	アクリルイクステンション チップオーバーレイ／スカルプチュアネイル (プラクティスハンド)						
10	アクリル スカルプチュアネイル3本 チップオーバーレイ2本 タイムトライアル(相モデル)						
11	アクリル スカルプチュアネイル3本 チップオーバーレイ2本 タイムトライアル(相モデル)						
12	アクリル スカルプチュアネイル3本 チップオーバーレイ2本 タイムトライアル(相モデル)					中間テスト20点	
13	アクリル スカルプチュアネイル3本 チップオーバーレイ2本 タイムトライアル(相モデル)						
14	アクリル スカルプチュアネイル3本 チップオーバーレイ2本 タイムトライアル(相モデル)						
15	アクリルイクステンション チップ&オーバーレイ スカルプチュアネイル(相モデル) チップオーバーレイ2本 スカルプチュア3本【90分】					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	エステティック理論Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	佐野 みゆき
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科エステ分野						
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エステティシャンとしてホームケアアドバイスができるようになる為の基礎知識をつける (栄養学・化粧品学・運動生理学)							
経歴：大手エステサロンにてエステティシャンを経験後、業界にて店舗開発、教育、化粧品・機器の開発に携わる							
【授業を通じての到達目標】							
エステティシャンとしてホームケアアドバイス(食事、運動、化粧品)ができるようになる 資格取得検定にて必要なコンサルテーションシートにアドバイスが記載できるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習			
AEAテキスト、新エステティック学 理論編Ⅱ							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 栄養学① 【到達目標】 ・ 5大栄養素、栄養素の種類を知る			9	【授業単元】 運動生理学② 【到達目標】 ・ 運動と代謝、運動とアンチエイジングについて知る		
2	【授業単元】 栄養学② 【到達目標】 ・ 栄養価 栄養所要量を知る ・ 食物摂取とその消化吸収 栄養学からみた食品を知る			10	【授業単元】 運動生理学③ 【到達目標】 ・ 運動時の姿勢やポジショニングについて知る		
3	【授業単元】 栄養学③ 【到達目標】 ・ 健康と栄養の関わりについて理解する ・ 肥満の判定について知る			11	【授業単元】 運動生理学④ 【到達目標】 ・ 運動を実践し、筋肉の動き方、使い方を知る		
4	【授業単元】 栄養学④ 【到達目標】 ・ 中老年期の栄養摂取について知る ・ サプリメントの摂取方法について知る ・ 食品添加物について知る			12	【授業単元】 ホームケアアドバイスの実践① 【到達目標】 お客様のお肌悩みに応じたアドバイスが出来るようになる		
5	【授業単元】 化粧品学① 【到達目標】 ・ 化粧品の基礎知識を学ぶ ・ フェイシャル化粧品について知る			13	【授業単元】 ホームケアアドバイスの実践② 【到達目標】 お客様のお体悩みに応じたアドバイスが出来るようになる		
6	【授業単元】 化粧品学② 【到達目標】 ・ 化粧品の目的を理解する ・ ボディ化粧品について知る			14	【授業単元】 ホームケアアドバイス③ 【到達目標】 お客様のお肌、お体の様々な悩みに応じたアドバイスが出来るようになる		
7	【授業単元】 栄養学・化粧品学復習 【到達目標】 ・ 食事、化粧品についてホームケアアドバイスが出来るようになる			15	【授業単元】 コンサルテーションシート作成 【到達目標】 お客様の悩みに応じたホームケアアドバイスをコンサルテーションシートに記入できる		
8	【授業単元】 運動生理学① 【到達目標】 ・ 運動の必要性 運動の効果 筋肉について知る			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A 評価 (90～100点) / B 評価 (80～89点) / C 評価 (70～79点) / D 評価 (60～69点) E 評価 (出席不良・評価資格喪失) / F 評価 (0～59点・不合格)			
【特記事項】							

科目名 (英)	サロン演習Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	福岡 佐智代
学科・コース	トータルビューティ科 エステ専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
プロのエステティシャンとしての所作、振る舞いを学ぶ 各種テクニックを理解し技術の習得を目指す 講師は現役エステティシャンであり、現在までに数多くのお客様方の美容上のお悩みをケアした経験を持ち、副店長、店長経験のある講師が担当する							
【授業を通じての到達目標】							
各トリートメント内容(目的・効果)を理解し接客を想定し説明、トリートメントができるように実施する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
各トリートメントのテキスト(プリント)・実技準備物一式							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	お客様を迎える準備、接客、誘導、ご案内						
2	フェイシャルの基本技術(クレンジング)						
3	フェイシャルマスクについて(ジェルマスク)						
4	フェイシャルマスクについて(クリームマスク)					4点	
5	施術の流れを通して効率の良い動きを学ぶ						
6	施術の流れを通して効率の良い動きを学ぶ					4点	
7	コースメニューの実施					中間テスト実施20点	
8	コースメニューの実施、コース紹介ツールの作成						
9	2年生学生サロン体験					4点	
10	コースメニューの実施						
11	コースメニューの実施					4点	
12	外部のお客様に対してコースメニューの実施、コース紹介を行う					4点	
13	実際にお客様にコースメニューを実施しての反省、振り返り						
14	外部のお客様に対してコースメニューの実施、コース紹介を行う						
15	外部のお客様に対してコースメニューの実施、コース紹介を行う					定期試験実施60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	フェイシャル演習Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	内藤 麻代
学科・コース	トータルビューティー科エステ分野	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
フェイシャルエステティックの流れや目的・効果・禁忌事項などが理解できたうえでトリートメントが提供できるようになる。また今後の資格試験の実技試験に合格するための技術、知識を身につける							
※講師はエステティシャンとして数多くのお客さまの美容上のお悩みをケアした経験を持つ(講師歴12年目)。 ※保有資格:AEA認定講師、AJESTHE認定講師、AJESTHE認定トータルエステティックアドバイザー、CIDESCO国際エステティシャン、美容師免許							
【授業を通じての到達目標】							
フェイシャルエステティックができるようになる ・クレンジング、ディープクレンジング、マッサージ、パック、整肌							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
AJESTHE教科書(新エステティック学 技術編)、実技準備物一式							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	フェイシャルエステティックの一連の流れ、準備の仕方、ポイントクレンジングについてセッティング、誘導、ターバン巻き、ポイントメイク落としの流れができるようになる						
2	クレンジング、拭き取り ポイントメイク落とし、クレンジング、スポンジ、コットン、スチームタオルでの拭き取りができるようになる					小テスト 4点	
3	フェイシャルマッサージ(6手技)について、フェイシャルマッサージ軽擦法 クレンジング、マッサージの軽擦法ができるようになる						
4	フェイシャルマッサージ強擦法、揉擦法 マッサージの強擦法、揉擦法ができるようになる					小テスト 4点	
5	フェイシャルマッサージ打法、振動法、圧迫法、軽擦法② マッサージの打法、振動法、圧迫法、軽擦法②ができるようになる						
6	パック クレンジング、マッサージ、パック、整肌の流れができるようになる						
7	中間テスト クレンジング、拭き取り、フェイシャルマッサージ、パック、整肌					中間テスト 20点	
8	ディープクレンジング(ゴマージュ粒子なし) 目的、効果、禁忌事項、注意事項を理解し、できるようになる						
9	ディープクレンジング(ゴマージュ粒子あり) 目的、効果、禁忌事項、注意事項を理解し、できるようになる					小テスト 4点	
10	ディープクレンジング(酵素)、スチーマーの使用方法 目的、効果、禁忌事項、注意事項を理解し、できるようになる						
11	ディープクレンジング(ブラシクレンジング) 目的、効果、禁忌事項、注意事項を理解し、できるようになる					小テスト 4点	
12	ディープクレンジング(吸引) 目的、効果、禁忌事項、注意事項を理解し、できるようになる						
13	ディープクレンジング(エレクトロクレンジング) 目的、効果、禁忌事項、注意事項を理解し、できるようになる					小テスト 4点	
14	フェイシャル一連の流れ クレンジング、ディープクレンジング、マッサージ、パック、整肌の一連の流れができるようになる						
15	定期試験 クレンジング、ディープクレンジング、マッサージ、パック、整肌					定期試験 60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ボディ演習Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	福岡 佐智代
学科・コース	トータルビューティ科 エステ分野	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ハンド・機器テクニックによるボディトリートメントの基礎を理解し、技術、接客の基礎が習得できるようになる。 ※エステティック講師、エステティシャンとして長年経験し、現在まで数多くのお客様方のケアをしている							
【授業を通じての到達目標】							
ボディの観察(ボディチェック)、マッサージを修得する。正しく安全にボディ機器を操作する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
日本エステティック協会『新エステティック学-技術編Ⅰ』、ボディ実技準備物一式							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】腰背部ボディマッサージについて(P,77～80) 【到達目標】 腰背部の注意点(揉捏法・打法の強さ、筋肉の位置)を理解し、マッサージできるようになる			9	【授業単元】コンサルテーションシートについて サクシオンについて 上半身(腰背部・上肢・腹部) 【到達目標】 コンサルテーションシートを用い、ボディチェックに基づき施術内容を組み立てられるようになる。 全身のリンパの流れを理解し、サクシオンを行うことができる。		
2	【授業単元】上肢ボディマッサージについて(P,83～85) 【到達目標】 下肢との違いを理解し、マッサージできるようになる			10	【授業単元】パイプレーターについて(P,60～62) パイプレーターの目的と効果、トリートメント 【到達目標】 パイプレーターの効果と目的、取り扱い方法を理解し、正しく扱うことができるようになる。		
3	【授業単元】腹部・デコルテマッサージについて(P,86～90) 【到達目標】 腹部、デコルテの筋肉を理解しながらマッサージを行う。力加減を意識して行う。			11	【授業単元】低周波について(P59～60) 低周波の目的と効果、トリートメント 【到達目標】 低周波の効果と目的、取り扱い方法を理解し、正しく施術することができる。		
4	【授業単元】ボディの観察(ボディチェック)について(P,55・91～94) 【到達目標】 ボディチェック(採寸・筋肉・脂肪・姿勢その他トラブル等)ができるようになる。			12	【授業単元】低周波について 【到達目標】 全身の筋肉の名称と位置を理解し、的確なパット位置を選ぶことができる。		
5	【授業単元】ボディの観察(ボディチェック)について ボディマッサージについて 【到達目標】 ボディチェックをスムーズに行うことができる。ボディマッサージを強弱・リズム・密着・姿勢を意識し行うことができる。			13	【授業単元】ボディ機器について 【到達目標】 それぞれの機器の特徴を理解し、ボディタイプに合わせたトリートメントを行うことができる。		
6	【授業単元】ボディマッサージの一連の流れについて 【到達目標】 全身のマッサージがテキストを見ずにスムーズにできるようになる。			14	【授業単元】ボディエステティックの流れ コンサルテーションシ～ボディ機器～仕上げ 【到達目標】 ボディエステティックの流れが時間を意識して行えるようになる		
7	【授業単元】中間テスト 【到達目標】 ご案内～全身のマッサージ～拭き取りの一連の流れ			15	【授業単元】定期テスト 【到達目標】 実技試験 ご案内～コンサルテーション(ボディチェック含む)～ボディ機器～仕上げの一連の流れ		
8	【授業単元】ボディ機器について(P63) 吸引(サクシオン)の目的と効果、下肢のトリートメント(P,63) 【到達目標】 サクシオンの効果と目的、取り扱い方法を理解し、正しく扱うことができるようになる。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	解剖生理学	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	佐野 みゆき
学科・コース	トータルビューティ科 エステ分野	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エステティシャンとして施術に必要な骨格、筋肉、循環器系、神経系について学ぶ 経歴:大手エステサロンにてエステティシャンを経験後、業界にて店舗開発、教育、化粧品・機器の開発に携わる							
【授業を通じての到達目標】							
ボディ実技と連動して理解でき、コンサルテーションに反映できるようにする							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
AEAテキスト「解剖生理学」／日本エステティック協会選択科目							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 骨と筋肉の1.役割 2.機能 3.構造 【到達目標】 全身の骨、筋肉について学ぶ			9	【授業単元】 内分泌系 ホルモン② 【到達目標】 性ホルモン、副腎について覚える		
2	【授業単元】 関節運動と筋肉の関係 【到達目標】 骨と筋肉の連動運動について知る			10	【授業単元】 免疫系 【到達目標】 免疫の1.仕組み 2.種類 3.機能 4.役割について覚える		
3	【授業単元】 循環器系の役割 【到達目標】 血液、血管の構造、機能、役割を覚える			11	【授業単元】 呼吸器、泌尿器系 【到達目標】 肺、腎臓の1.構造 2.機能 3.役割について覚える		
4	【授業単元】 循環器系 リンパの役割、働き 【到達目標】 リンパの1.構造 2.機能 3.循環 4.むくみについて覚える			12	【授業単元】 消化器系① 【到達目標】 口腔、咽頭、食道、胃について1.構造 2.機能 3.役割を覚える		
5	【授業単元】 神経系 中枢神経 【到達目標】 1.神経系の種類 2.脳の構造 3.脳の働きについて覚える			13	【授業単元】 消化器系② 【到達目標】 肝臓、小腸、大腸、肛門について1.構造 2.機能 3.役割を覚える		
6	【授業単元】 神経系 末梢神経 【到達目標】 1.自律神経 2.体性神経について覚える			14	【授業単元】 代謝と体温 【到達目標】 代謝の調節、体熱生産・放散、体温調整について覚える		
7	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 筋・骨格、循環器、神経系より四択問題及び記述式試験			15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 内分泌系、免疫系、呼吸器系、泌尿器系、消化器系、代謝について の四択問題および記述式試験		
8	【授業単元】 内分泌系 ホルモン① 【到達目標】 ホルモンの1.構造 2.機能 3.役割について覚える 甲状腺、膵臓、成長ホルモンについて覚える			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	皮膚学	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	内藤麻代
学科・コース	トータルビューティー科 エステ分野	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
皮膚の基本知識を深め、肌質に合わせて適切なお手入れ方法や推奨トリートメントなどアドバイスができるようになる。 ※講師はエステティシャンとして現在まで数多くのお客様の美容上のお悩みやケアをする経験を持ち、日本エステティック協会及び日本エステティック業協会の認定エステティシャンが担当する。							
【授業を通じての到達目標】							
皮膚の働きと仕組みを理解し、肌質にあったスキンケア方法や肌を美しく健康に保つための基礎知識を習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
AEA皮膚科学、新エステティック学理論							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	皮膚の構造 AEA P.6～13 新エステティック P.126～130						
2	皮膚の構造 AEA P.14～19 新エステティック P.126～130					小テスト4点	
3	皮膚の付属器官 AEA P.20～30 新エステティック P.126～130						
4	皮膚の生理機能と皮膚の働き AEA P.34～41 新エステティック P.135～150					小テスト4点	
5	肌トラブルの要因（ストレス・自律神経・ホルモン・免疫）AEA P.46～53 新エステティック P.151～154						
6	肌トラブルの要因（内臓・血液循環・栄養・生活習慣・ケア）AEA P.54～64 新エステティック P.151～154						
7	中間テスト（筆記試験）					中間テスト20点	
8	肌タイプとタイプ別スキンケア AEA P.65～70 新エステティック P.151～154						
9	肌の老化とケア（加齢・紫外線・シワ）AEA P.74～84 新エステティック P.162～176					小テスト4点	
10	シミ・その他の老化現象 AEA P.85～90 新エステティック P.162～176						
11	敏感肌と皮膚疾患 AEA P.94～107 新エステティック P.177～183					小テスト4点	
12	ニキビ・その他 AEA P.108～124 新エステティック P.177～183						
13	肌タイプを理解し、肌の見極め・肌分析 新エステティック P.195～205					小テスト4点	
14	肌分析、コンサルテーション 新エステティック P.195～205						
15	定期試験（筆記試験）					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点） D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価			

科目名 (英)	スタイリスト演習Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	矢澤 勇
学科・コース	トータルビューティ科ファッション専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
講師経緯:ショップ販売員・モデル活動を経て現在はスタイリストとして活動している講師が様々なお客様へのスタイリング方法を教えた、スタイリストとしての仕事について実習・講義を行い学生たちがアドバイザーだけではなくスタイリストアシスタントしても活躍できる知識を得ることができる。							
【授業を通じての到達目標】							
どのスタイル・カテゴリーにおいてもスタイリストとしてコーディネートが組めるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
授業毎にプリントを配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	スタイリスト概論・授業概要の理解						
2	素材別のアイロン技術					4	
3	年代別コーディネート(10代・20代)						
4	年代別コーディネート(30代～50代)						
5	シーン別コーディネート提案					4	
6	オリジナルスタイリング						
7	オリジナルスタイリング & プレゼンテーション					20	
8	シーン別コーディネート提案②						
9	シーン別コーディネート提案③					4	
10	トレンドスタイリング						
11	トレンドスタイリング②					4	
12	スタイリスト現場での動きの理解						
13	スタイリスト現場での動きの理解②					4	
14	テーマに沿ったオリジナルコーディネート						
15	定期試験					60	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ファッションIT演習 I (Fashion IT exercises)	必修 選択	必修	年次	1年次	担当教員	TFL (Avail 山下)
学科・コース	トータルビューティー科・ファッションコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
東京ファッションテクノロジーラボ(TFL)は、2017年の設立以来ファッションとテクノロジー・CG・映像など複数領域の知見を組み合わせた教育を展開し、さらにテクノロジーの産業活用を研究するAI・バーチャルファッション・デジタルツインなどの学内の研究会で得られた新技術やノウハウを、教育カリキュラムとして人材育成に還元しています。 このTFLの教育ノウハウを活用し、今後増大するDX(デジタルトランスフォーメーション)化推進のニーズに対応した人材を育成していきます。 目的:ファッション3Dモデリングスキルを習得し、業界の川上から川下まで、様々な場面で人材ニーズの多いDX対応人材を育成する。 概要:ファッション3DCADソフト「Browzwear」を活用し、2Dパターン(型紙)データ・テクスチャ(生地表面質感/生地物性)データから、ファッションアイテムのCG作成、3DCGでのスタイリング、ECサイトのささげ代替可能な精緻なファッション3DCGを作成するスキルを習得し、学生のキャリア形成の可能性を広げ、業界の発展に寄与する。							
【授業を通じての到達目標】							
Browzwearの基本操作習得と軽衣料(SS商材)の形状仕上げ オリジナルデザインの3DCGを出力、プレゼンテーションする							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	Brawzwearの基本操作/Tシャツ1:ツール・マウス操作説明/アバター編集/縫い合わせ指示/3D空間での						
2	Tシャツ2:パターン読み込み/被服構造/パターン編集/デザイン修正/グラフィック配置/小テスト					5点	
3	スカート1:スカートの展開/タイトスカート原型/フレアスカート/ギャザースカート/ゴム設定						
4	スカート2:ブリーツスカート/ブリーツ折り曲げ設定/パターン編集/デザイン修正/小テスト					5点	
5	シャツ1:シャツ・ブラウスのパターン/芯/折り曲げ設定(衿)/前立て/カフス・剣ボロ/タック指示						
6	シャツ2:切り替え・内部線編集/ボタン設定/ファスナー設定/ステッチ指示/レンダリング手順/小テスト					5点	
7	コーディネート作成/着せ付けテクニック・各種ツールの使い方/アバターポーシング						
8	中間テスト:用語と基本操作/ファッション3DCGアワード制作1:デザイン検討/生地検討					20点	
9	ファッション3DCGアワード制作2:3Dモデリング個別制作/生地決め/デザイン・パターン打ち合わせ						
10	ファッション3DCGアワード制作3:3Dモデリング個別制作/パターン作成						
11	ファッション3DCGアワード制作4:3Dモデリング個別制作/生地(テクスチャ・物性)データ取得						
12	ファッション3DCGアワード制作5:3Dモデリング個別制作/中間チェック					5点	
13	ファッション3DCGアワード制作6:個別制作/ブラッシュアップ						
14	ファッション3DCGアワード制作7:個別制作/ブラッシュアップ/レンダリング設定						
15	前期末試験:3DCG作品評価/ファッション3DCGアワード審査会					60点	
【特記事項】				【評価について】			
後期修了時、後期修了時の年2回、外部企業(豊島株式会社)との連携により、ファッション3DCGアワード実施予定 産学案件として学生作品の商品化まで視野に入れた計画を調整中				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ファッションビジネス I Fashion business	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	前嶋 直哉
学科・コース	トータルビューティ科ファッション専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） ファッション業界の第一線で活躍するためのファッションの総合的な知識の習得と、ファッション業界とそれを取り巻く業界の職務理解を行う ※講師:エストネーションカンパニーにて管理職として就業後、東京コレクションブランドにてアドバイザー、新規事業コンサルタント、ブランドマネージメントを行う							
【授業を通じての到達目標】 マーチャンダイジング・ヴィジュアルマーチャンダイジングの仕事について理解することができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
授業毎にプリントを配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	ファッション基礎知識の復習、接客知識の習得 業界で働く上で必要なファッション基礎知識の振り返りを行い、接客に活かせるようにする						
2	ファッションの業態を知ることでファッションの幅を知る ファッション、小売店舗の種類の理解してファッション業界の幅を知る					4	
3	ファッション業界についての業務理解① 販売職に必要な知識や、業務内容の理解。 (業種、職種のことを理解して、色々な業務との繋がりを知る)						
4	ファッション業界についての理解② MD、VMD、バイヤー、商品企画、生産、商品管理とは？商品部署の業務内容の理解。						
5	ファッション業界についての理解③ PR(プレス)、マーケティングとは？広報部署の業務内容の理解。					4	
6	ファッション業界についての理解④ 本部業務やファッションを取り巻く職種についての理解。(ファッション業界に付随しているメーカーなどの業務内容の理解)						
7	中間テスト 筆記テスト(50分)、回答(10分) ファッション業界についての業務、職務内容についての説明					10	
8	雑誌、WEBからメイク、コスメのトレンド、流れを理解する コスメ、メイク業界のファッションについての理解をして、ファッションのトータルコーディネートを考える (「vogue」「ELLE」「WWD」からアパレル以外の情報を得る)						
9	ショップリサーチ(実際に接客を受けて、販売職の仕事を知る) ショップリサーチを行い、販売員の現場での動きや、お客様への対応を知る					4	
10	ファッション業界の基本シーズンの理解 SS、AWとは？シーズンとは？いつからシーズンは始まる？などファッション業界の基本シーズンの理解。						
11	ファッショントレンドの流れを理解して、デザイン、ブランドのことを理解する 今のトレンドを理解していく上で必要な、日本のファッショントレンドの理解する					4	
12	ファッショントレンドの流行色の理解を深める トレンド、時代背景から流行色やファッションを理解する						
13	ファッショントレンドを知るための5大コレクションについての理解 5大コレクションの流れ(メンズ、ウィメンズ)とコレクションブランドの把握をして、ファッショントレンドを理解する					4	
14	定期テスト準備 ファッション業界についての業務理解、ファッション知識の復習						
15	定期試験 筆記テスト(60点)、回答(20分) ファッション、トレンドについての用語説明など					60	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ファッション概論 Fashion outline	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	前嶋 直哉
学科・コース	トータルビューティ科ファッション専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ファッション業界の第一線で活躍するためのファッションの総合的な知識の習得と、ファッション業界とそれを取り巻く業界の職務理解を行う							
※講師:エストネーションカンパニーにて管理職として就業後、東京コレクションブランドにてアドバイザー、新規事業コンサルタント、ブランドマネージメントを行う							
【授業を通じての到達目標】							
ファッション業界の第一線で働くための、基本的なファッション知識の習得とファッション業界についての業務内容などを理解をする							
【使用教科書・教材・参考書】							
授業毎にプリントを配布							
【授業外における学習】							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	ファッション基礎知識の復習、接客知識の習得 業界で働く上で必要なファッション基礎知識の振り返りを行い、接客に活かせるようにする						
2	ファッションの業態を知ることでファッションの幅を知る ファッション、小売店舗の種類の理解してファッション業界の幅を知る						4
3	ファッション業界についての業務理解① 販売職に必要な知識や、業務内容の理解。 (業種、職種のことを理解して、色々な業務との繋がりを知る)						
4	ファッション業界についての理解② MD、VMD、バイヤー、商品企画、生産、商品管理とは？商品部署の業務内容の理解。						
5	ファッション業界についての理解③ PR(プレス)、マーケティングとは？広報部署の業務内容の理解。						4
6	ファッション業界についての理解④ 本部業務やファッションを取り巻く職種についての理解。(ファッション業界に付随しているメーカーなどの業務内容の理解)						
7	中間テスト 筆記テスト(50分)、回答(10分) ファッション業界についての業務、職務内容についての説明						20
8	雑誌、WEBからメイク、コスメのトレンド、流れを理解する コスメ、メイク業界のファッションについての理解をして、ファッションのトータルコーディネートを考える (「vogue」「ELLE」「WWD」からアパレル以外の情報を得る)						
9	ショップリサーチ(実際に接客を受けて、販売職の仕事を知る) ショップリサーチを行い、販売員の現場での動きや、お客様への対応を知る						4
10	ファッション業界の基本シーズンの理解 SS、AWとは？シーズンとは？いつからシーズンは始まる？などファッション業界の基本シーズンの理解。						
11	ファッショントレンドの流れを理解して、デザイン、ブランドのことを理解する 今のトレンドを理解していく上で必要な、日本のファッショントレンドの理解する						4
12	ファッショントレンドの流行色の理解を深める トレンド、時代背景から流行色やファッションを理解する						
13	ファッショントレンドを知るための5大コレクションについての理解 5大コレクションの流れ(メンズ、ウィメンズ)とコレクションブランドの把握をして、ファッショントレンドを理解する						4
14	定期テスト準備 ファッション業界についての業務理解、ファッション知識の復習						
15	定期試験 筆記テスト(60点)、回答(20分) ファッション、トレンドについての用語説明など						60
【特記事項】					【評価について】		
					●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点		
					●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)		
					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。		

科目名 (英)	検定対策Ⅰ (Official overall practice)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	緑川 有香
学科・コース	トータルビューティ科ファッション専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
接客販売トレーニング＆コンサルティング事務所の代表を努め、数多くの業態で店舗売り上げ日本一を獲得実績を持つ講師が、店頭において行う接客販売の基礎知識とお客様の購買行動について演習・講義を行いそれに応じた接客の仕方を身につける							
【授業を通じての到達目標】							
ファッション販売能力検定3級取得:ファッション小売業における販売/店舗運営知識の把握、技術の習得 ナチュラルビューティースタイリスト検定取得:ライフスタイルアドバイザーとしての健康的なくらしのサポート知識習得							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ファッション販売3 ファッション販売検定試験問題集3級 ナチュラルビューティースタイリスト検定問題集				講義時に行った問題集の正誤復習理解			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	ファッション販売能力検定3級概要解説 ファッション販売能力検定3級概要理解する 教科書全ページ流し読み						
2	1章ファッション販売知識 ファッション販売知識理解する 教科書:P8-P19/P174-P185					4	
3	5章 マーケティング1 マーケティング1理解する 教科書:P174-P185						
4	5章 マーケティング2 マーケティング2理解する 教科書:P185-P197						
5	6章 販売スタッフの業務 販売スタッフの業務理解する 教科書:P185-P197					4	
6	2章 ファッション販売技術 ファッション販売技術理解する 教科書:P20-P45						
7	3章 商品知識1 アイテムの知識理解する 教科書:P46-P93					20	
8	3章 商品知識2 素材/ディテール/柄/サイズ知識理解する 教科書:P94-P151						
9	4章 売り場づくり 売り場づくり理解する 教科書:P152-P173					4	
10	ファッション販売能力検定3級 総括 ファッション販売能力検定3級総合理解する 試験対策、過去問演習						
11	ナチュラルビューティースタイリスト検定対策1 ナチュラルビューティースタイリストとの役割理解する 「カラダのしくみを知る」理解 教科書:P2-P22					4	
12	ナチュラルビューティースタイリスト検定対策2 「カラダの内側から整える」理解する 教科書:P23-P62						
13	ナチュラルビューティースタイリスト検定対策3 「カラダの外側から整える」理解する 教科書:P63-P86					4	
14	ナチュラルビューティースタイリスト検定対策4 「毎日のこころがけでナチュラルビューティー」理解する 「植物図鑑」理解 教科書:P87-P121						
15	定期試験 ナチュラルビューティースタイリスト検定受験					60	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	接客販売ロールプレイ I Sales roll play	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	緑川 有香
学科・コース	トータルビューティ科ファッション専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
接客販売トレーニング&コンサルティング事務所の代表を努め、数多くの業態で店舗売り上げ日本一を獲得実績を持つ講師が、店頭において行う接客販売の基礎知識とお客様の購買行動について演習・講義を行いそれに応じた接客の仕方を身につける							
【授業を通じての到達目標】							
・店頭において接客販売が一人前にできる状態を目指す							
【使用教科書・教材・参考書】							
【授業外における学習】							
・SC協会DVD ・接客会話攻略ハンドブック							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	入社後の目標確認/接客販売の仕事理解/購買行動の変化 ファッション業界で行われる接客の必要性・重要性を理解する お客様の購買行動の変化を知る						
2	体験事例共有/購買心理/求められる販売行動 接客販売への理解/ショップの年間の流れを理解する お客様の購買心理と購買行動を知る					4	
3	接客用語/敬語/店頭用語/立ち居振る舞いについて 接客販売基礎を学び接客の基礎を実践出来るようになる						
4	接客用語(外語学) 外国語での販売基礎を学び、多様なお客様に対応ができるようになる						
5	表情・挨拶・待機姿勢/店頭での動き方(ロールプレイ) 第一印象の重要性を知る/第一印象良く過ごせるようになる					4	
6	ウォッチング/ファースト&セカンドアプローチ(ロールプレイ) ウォッチング(観察)とアプローチを知ることができる						
7	筆記テスト/ロールプレイ演習実技(各自2分間ずつ) 中間テスト(20点) 接客基礎と考え方の確認					20	
8	メリット・デメリット・ベネフィット/セリングポイント 商品説明・紹介トークができるようになる						
9	ニーズとウォンツ/ニーズの引き出し方/お客様への質問の仕方 ニーズとウォンツを理解し、ヒアリングができるようになる					4	
10	提案(プレゼンテーション)のポイント/買いたくなる提案の仕方 提案力を身につけ、商品提案ができるようになる						
11	クロージング/販売員主導の接客とお客様主導の接客/お見送り作法 クロージングとお見送りを学び、接客を完結させられるようになる					4	
12	リピーターを作る重要性/リピーターを作る仕組み リピーターづくりを学び、継続的な売上確保が必要な重要性を知る						
13	接客ロールプレイ演習 ロールプレイ演習実技(入店～お見送りまで)ができるようになる					4	
14	定期試験準備 ロールプレイ演習実技の復習(入店～お見送り) 定期試験準備						
15	ロールプレイ演習実技試験(各自7分間ずつ)/実技ふりかえり 定期試験(60点)					60	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			